

東京オリンピック後 飛込強化策②

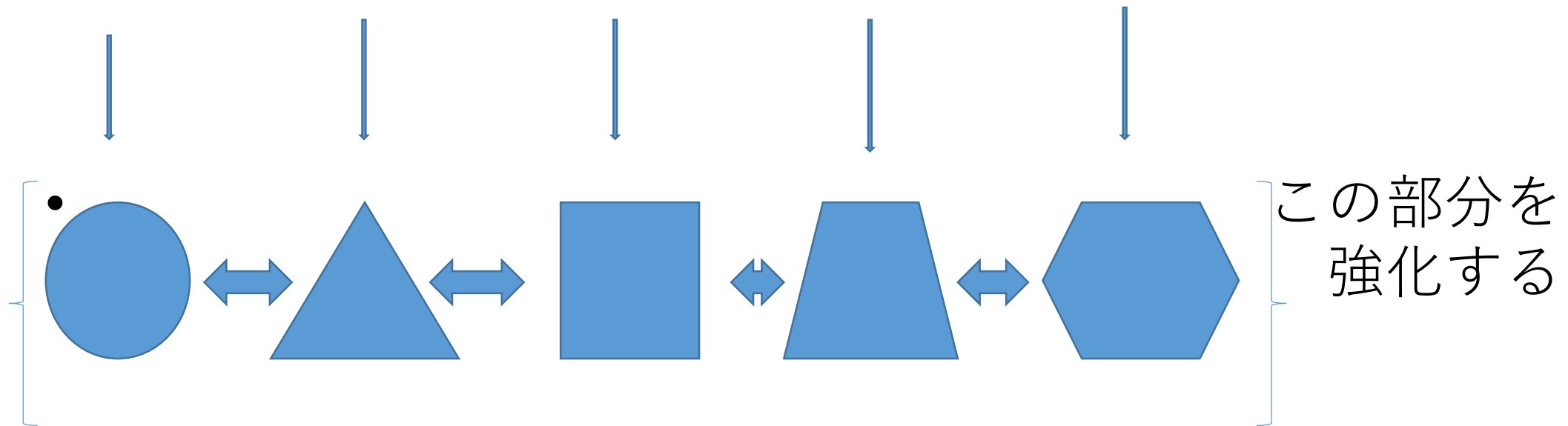
飛込競技を普及させるための強化策

安永三郎

2019/03/29～

何を強化するのか

- 鳥
 - 取
- 山 島 岡山 広島
口 根 山 島



強化の内容

- 情報交換（日本水泳連盟とのパイプ）
 - コーチ
 - 審判員
 - 選手
 - その他
- 競技会設営
- 事務局

共同体のような組織

- 現存する各県飛び込み委員会が集まって組織を作る。
- 各県水泳連盟や各県体育協会などとのつながりは今まで通り。
- ブロック飛び込み委員会を作る。

この委員会で事業をおこなう

例) 韓国遠征合宿

ブロック強化合宿

大会運営

他ブロックとの関わり

- ブロック内での冬期トレーニング
室内プール、室内トレーニング場など
ブロック規模で使用する施設
- 最低、ブロックに1つあればよい。
必要でない経費削減につながる

組織

- 委員 長
- 副委員長 社会人・大学・高校・中学・J O担当
- 強化担当部長
- 普及担当部長
- 会 計・ ・ ・ 資金集め

組織は独立したものである

- 資金 各県より一律。
- 組織が得た資金を用途管理する。
- いままで各県がやってきたことをブロックがやる
- 日本水泳連盟飛込委員会も通知・連絡などが容易である。